

学校関係者評価様式9 【評価報告書】

令和5年7月31日

呉竹鍼灸柔整専門学校
校長 坂本 歩 殿

学校関係者評価委員会

学校関係者評価委員会報告

令和4年度自己点検・自己評価結果に基づき、下記のとおり学校関係者評価を実施したので、その結果を報告します。

記

1 学校関係者評価委員

- ① 齋藤 武久 (公益社団法人 神奈川県柔道整復師会 会長)
- ② 大淵 真 (一般社団法人 神奈川県鍼灸マッサージ師会 副会長)
- ③ 清水 慎司 (公益社団法人 神奈川県鍼灸師会 会長)
- ④ 戸畑 智秋 (ちあき接骨院・ちあき鍼灸マッサージ院 院長)
- ⑤ 金城 岳大 (株式会社 リライフ 代表)
- ⑥ 佐久間 裕之 (源和鍼灸院 院長)
- ⑦ 阿久津 弘宣 (なおしや はり灸整骨院 院長)
- ⑧ 木ノ内 秀効 (田子浦鍼灸接骨院 院長)
- ⑨ 鈴木 昌子 (在校生保護者)
- ⑩ 岩井 美弥子 (卒業生)

2 学校関係者評価委員会の開催状況

- ・令和4年12月15日 (呉竹鍼灸柔整専門学校 8階・講堂)
- ・令和5年7月19日 (呉竹鍼灸柔整専門学校 8階・講堂)

3 学校関係者委員会報告

別紙のとおり

以上

I 重点目標について

1. 学修成果の指標数値の改善

令和4年度の国家試験合格率は、あんまマッサージ指圧師、はり師、きゅう師、柔道整復師いずれも全国平均の合格率を上回っている。柔道整復師国家試験合格率については全国平均が49.6%と厳しい結果の中73.6%と健闘しているが、さらに良い結果を残せるよう期待する。

就職率は85.3%で高水準を維持しているものの、国家試験の合格状況が就職活動に影響を及ぼしている可能性も考えられるため、国家試験の支援と合わせた就職指導を行う必要がある。

中途退学者は、前年に比べて増えたことにより目標の5%を超える8.7%となっている。その多くは成績不良を要因とする退学が多いため、引き続き学習サポートに注力するとともに、モチベーションを向上させるキャリアガイダンス等の実施、アクティブラーニングの活用等をお願いしたい。

2. 正課外の教育活動の充実

スポーツ大会、学園祭、中国研修は新型コロナウイルスの影響により開催中止となっているが、新規行事として釜石市の協力を得て8月に防災・トレーナー研修が実施された。また、公認サークルの奨励によりスポーツ系サークルに加えて、筋肉や美容に関する学術サークルの活動が行われているほか、施術技術向上のためのスキルアップセミナーが開催された。

次年度はポストコロナ社会の中での教育活動の充実に向けて一層の取り組みを期待する。

3. 教育資源を活用した地域貢献

地域貢献の新しい取り組みとして中学・高校への出張授業が実施され、生徒及び教諭の方々から好評を得ているため、継続的な実施をお願いしたい。また、柔道整復科附属施術所では地域住民やオフィスワーカーの方を対象にした運動指導教室が開催された。地域の方の健康の維持増進の観点からも教育資源を活用した更なる企画を期待する。

II 各評価項目について

1 教育理念・目的・人材育成像

教育理念、目的、育成人材像等は規程上明確にされており、その周知はホームページ、学校案内、学生便覧等により行われている。

育成人材像は、業団や企業等の外部人材から構成される教育課程編成委員会において業界ニーズに適合するように適宜見直しが行われている。

平成 26 年 3 月には職業実践専門課程として文部科学大臣の認定を受け、特色ある職業教育の実践に取り組んでいる。

学校の将来構想では、学園創設 100 周年に向けて 100 周年プロジェクト P T を編成し、内外に向けた記念事業の準備が進められており、その一環として令和 6 年には校名変更が計画されている。

2 学校運営

学校運営は、理念等を達成するための運営方針及び事業計画等に則って行われ、その運営組織は、寄付行為、学則及び諸規程に基づいて適切に組織されている。

人事・給与は、就業規則、人事考課規程、給与規程等に基づいて運用され、組織の活性化及び人材育成の観点から新しい人事評価制度が導入された。

意思決定システムは、文書決裁規程に基づいて原義書により意思決定の過程が明らかにされている。

情報システム化では、学生募集システム、授業支援プラットフォーム、就職支援サイト、成績集計システム、経理システム、給与システム、ネットバンキング等でシステム化による業務の効率化が図られている。

情報セキュリティでは、セキュリティ対策システムが構築されており、不正アクセスを監視するセキュリティシステムも導入されている。

3 教育活動

教育活動における目標の設定では、ディプロマポリシー及びカリキュラムポリシー（教育課程編成・実施の方針）により方針が明示されており、学科ごとに教育到達レベルが明確になっている。

教育方法・評価については、理念等を達成するためにカリキュラムポリシーに則り、外部の意見を反映させながら教育課程を編成し、授業科目や教育方法はシラバス等に明記されている。キャリア教育では、職業人としての自立を促すため、人間関係形成・社会形成能力、自己理解・自己管理能力、課題対応能力、キャリアプランニング能力などを醸成するための体系的な実施計画、実施方法が課題となっている。授業評価は各学期

末に実施され、その結果は教職員・講師にフィードバックされている。

成績評価・単位認定の基準等については、シラバス・学生便覧等に明示されており、オリエンテーション等で学生への説明が行われている。各学年の成績評価及び単位認定は、試験成績等に基づいて教務会の議を経て校長が決定し議事録に記録されている。

資格・免許取得の指導体制では、目標とする資格を教育課程上に明記し、最終学年には補習や個別指導を含む国家試験対策が行われている。国家試験不合格者に対しては、卒業後も無料で授業を聴講できる聴講生制度が設けられているほか、国家試験対策の塾として呉竹塾が開設され、既卒者向けの国家試験体制が整備されている。

教員組織については、資格要件を有した教員を確保し、教員研修会や講習会、FD活動等を通して教員の資質の向上に向けた取り組みがされている。また、学則等の規定に基づき教育活動に必要な会議、委員会等の組織が編成され運営されている。

4 学修成果

就職率、資格取得率ともに高水準を維持しており、特に国家試験合格率は全国平均を上回る結果となっている。その一方で、柔道整復師国家試験の合格率の向上、就職希望者の卒業時就職率の向上が継続的な課題となっている。

卒業生の社会的評価については、校友会組織「呉竹会」、就職先及び実習先との連携や卒業生の取材、関係団体が主催する学術大会等を通して把握されている。

5 学生支援

学生支援では、就職支援、中退予防、学生相談、学生生活支援、経済的支援、健康管理、生活環境支援、課外活動支援、保護者との連携、卒業生への支援など多方面から組織的な取り組みが行われている。

就職支援では、学生の主体的な就職活動を一層支援するため、卒業生によるキャリアガイダンスや就職セミナーなどが開催されている。また、新しい取り組みとして「交流」をテーマにした「施術フェスタ&医療展示販売会」が開催され、多数の企業の協力を得て200人を超える学生が参加し評価の高いイベントとなっている。

学生相談に関する支援では、教職員による個別相談体制に加え、スクールカウンセラーによる支援が行われている。

学生生活における経済的支援では、学校独自の奨学金制度、授業料減免制度、特待生制度などが設けられているほか、専門実践教育訓練給付制度や国の授業料等負担軽減制度の対象校となっている。また、学生の健康管理では、学校保健安全法に基づき健康診断及び胸部X線検診が毎年度実施されていることに加え、校内や実習先での事故等に備え、全在校生が24時間共済保険に加入している。県外からの進学者に対しては指定学生寮の案内を行うなど生活環境の支援も行われている。課外活動では、公認サークル制度が設けられており、学生の課外活動の支援が行われている。

保護者との連携体制では、文書や電話での連絡に加えて、保証人懇談会を開催し教育活動の情報や学生指導等について情報提供を行っている。

卒業生への支援では、校友会組織を中心とした講習会・懇親会などが開催されている。

6 教育環境

校舎施設・設備等の教育環境は、関係法令の基準に従って、教育上必要な施設設備を有している。令和4年度は校舎竣工から20年が経過するため、中長期修繕計画に基づいて校舎の大規模改修工事及び全熱交換器更新工事が実施された。

学外実習では、鍼灸院、接骨院、医療機関、介護施設等の実習先を確保し、実習調整者と企業等の実習指導者との連携体制が確保されている。

防災・安全管理への対応については、関係法令に基づいて適切に対応されている。また、大規模災害を想定した防災備蓄品の充実化への取り組みも成されている。

7 学生の募集と受入れ

学生募集は、神奈川県専修学校各種学校協会入試倫理要綱に則り、実施時期、選考方法、選考基準などを明らかにした上で適切に行われている。

入学志願者や接続する高等学校に対しては、入学案内、ホームページ、学校説明会、オープンキャンパス、進路ガイダンス等において積極的な情報提供が行われている。

入学選考では、入試委員会による成績判定会議にて決定し、その結果は議事録に記録されている。受験者数や入学者数の動向などは広報委員会にて把握し、学生募集活動や入学試験の見直しなどが行われている。

学納金は、同分野の学校の水準を把握した上、経費内容に基づいた学納金となっている。入学辞退者に対する授業料等の返戻については、学則及び募集要項に明記して適切に対応されている。

8 財務

財務基盤、財務分析、予算収支計画、監査、財務情報の公表など財務に関する必要な事項は適切に実施されている。

財務状況については中長期的に安定しているが、入学者数の減少より学納金の減収、校舎老朽化対策・建て替えなどによる支出の増加、消耗品・光熱費等の物価高に伴うコストの増加などが経営に影響を及ぼし始めているため、引き続き入学者数の安定的な確保と中途退学者の抑制に努めていく必要がある。

予算・決算及び主要な財務数値に関する財務分析は法人本部にて行われ、理事会の監査を受けたのちホームページに財務情報を公表している。また、外部の監査法人による内部統制監査が実施されており、財務の適正な執行管理に努められている。

9 法令等の遵守

関係法令の遵守、個人情報の保護、学校評価の実施、情報公開などすべて適切に実施されている。

個人情報の保護では、日常的に使用するメールやクラウドシステムでの事故防止をテーマにした研修会が実施された。

自己評価及び学校関係者評価は適切に実施されており、その結果はホームページに公表されている。

教育情報に関する情報公開では、「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」に基づいて、教育活動及び学校運営に関する情報が網羅的に開示されている。

10 社会貢献・地域貢献

学校の教育資源を活用した社会貢献では、附属施術所における外来患者の受入や学園祭でのチャリティー鍼灸・チャリティーマッサージのほか、関連団体の学術講習会や研修会の会場提供なども行われている。(令和4年度のチャリティー鍼灸・チャリティーマッサージは新型コロナウイルスの影響のため中止された。)

また、令和4年度からは高校への出張授業が企画実施され、ストレッチやテーピングなど部活動への支援を通して普及啓発活動が行われている。

国際交流では、学術交流・学術研鑽を目的にした上海中医薬大学短期留学が毎年度実施されているが、新型コロナウイルス及び国際情勢の影響等を勘案し、オンラインセミナーに代えて実施された。

学生のボランティア活動の奨励では、神奈川県体育協会主催の陸上競技やハンドボール大会におけるメディカルサービスステーションのボランティアスタッフとして学生が派遣されているが、令和4年度は新型コロナウイルスの影響のため中止となっている。

社会貢献・地域貢献を行うにあたり、学校施設の開放日や人員スタッフの確保などが課題となっているが、公開講座やボランティア活動など学校の教育資源を活用した取り組みの充実をお願いしたい。

以上